

6/24 五時

22年度 国民年金保険料

「免除」「猶予」高止まり

厚生労働省は26日、2022年度の国民年金保険料の納付状況を発表しました。低所得により支払いを全額免除・猶予された人は606万人。過去最多だった21年度の612万人を下回りましたが、新型コロナウイルスの影響で高い水準が続いています。納付率は前年度比2.2%増の76.1%となりました。

都道府県別の納付率は、島根が86.8%で最も高く、

富山(86.1%)、新潟(86.0%)と続きました。最も低かったのは大阪(69.2%)で、次いで沖縄(70.5%)、福岡(72.0%)連続。19年度まではおむね580万人前後で推移していましたが、コロナの影響で20年度に609万人へ増えました。金額未納者は17万人減の89万人。国民年金の保険料(23年度)は月1万6520円です。

22年度末時点の国民年金加入者のうち、自営業者ら第1号被保険者は前年度比26万人減の1405万人、会社員らの配偶者が入る第3号被保険者は42万人減の721万人。パートなど短時間労働者への厚生年金適用拡大が影響していることが分かります。